

日本たばこ産業株式会社 東海工場



所在地 静岡県磐田市西之島78-3

事業内容 たばこ製造業

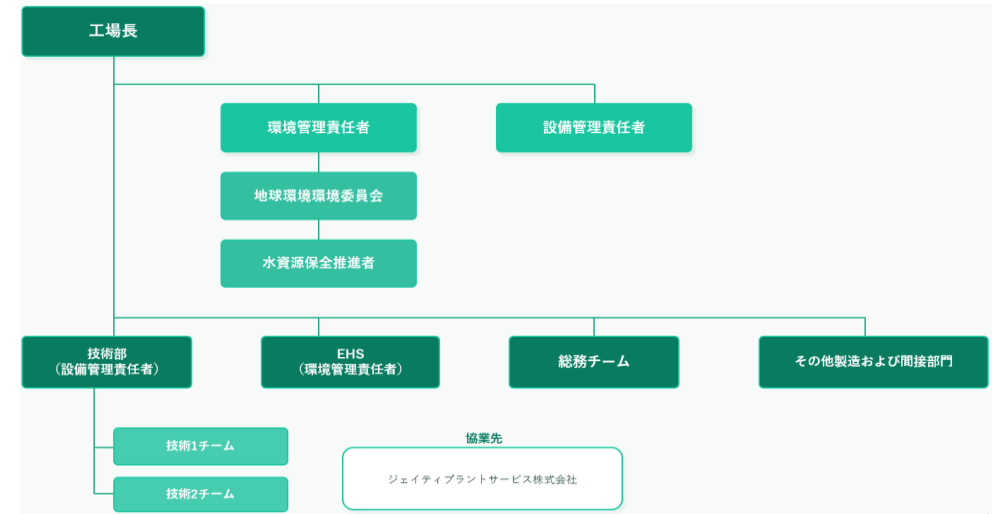
設立 昭和54年（1979年）

社員数 JT社員：約260名、グループ会社社員：約208名



サイトの管理体制

【水管理チーム組織図】



【役割と責任】

役職	担当	役割と責任				
Factory Lead	-	・総括責任者 ・工場危機管理責任者				
環境管理責任者	EHS	・水資源および環境法令順守責任者 ・利害関係者とのコミュニケーション責任者				
設備管理責任者	技術部	・水使用量および施設管理責任者				
水資源保全推進者	-	・水資源保全推進担当者				

役割	責任者	工場長	EHS	技術部	総務チーム	JTFS
水使用量目標設定		I	A	R		
水使用量データ収集・管理				R		
排水管理			A	R		C
異常発生時（漏水・汚染）対応		I	A	R		C
行政報告		I	A			
水関連の法令・規則順守		I	R	R	A	

名称	略称	日本語	説明
Responsible	R	実行責任者	タスクの実行者
Accountable	A	説明責任者	タスクの説明責任者
Consulted	C	協業先	タスクを進める際の相談者
Infomed	I	報告先	タスクの進捗状況の報告先

計画の類別	目標		評価結果	既存のイニシアチブとの対応
	目標	具体的な取り組み内容		
良好な水ガバナンス	【有効性/効率性/信頼と参加】 毎月の水関連実績の確認及び四半期毎の報告の実施 水使用量、水質、法令等の確認を毎月実施。また、四半期ごとには、各部のマネジメントに報告を行う。 目標：毎月の実績確認(全12回)及び四半期毎の報告実施（全4回）	EHSおよびEngineeringを中心に、月に1回、前月の水関連計画（水使用量、水質、法令等の報告）に対し実績の確認及び評価する。評価後、EHSおよびEngineeringで評価結果に対するアクションを必要に応じ実施、また四半期毎に開催する地球環境委員会にて各部マネジメントを招集し環境管理体制に基づきレビューを行い、結果を従業員へ周知する。 年1回、活動のサイクルが回っていることをマネジメントレビューで確認する。	7月時点の結果 1～7月の各月の実績及び、全5回地球環境委員会を開催し、活動に対して運用サイクルが回っていることを確認	活動を維持継続するため、組織の活動内容を分析、整理を行い、水管理の運用サイクルを回す。
持続可能な水収支	【水使用量の削減】 最終目標： 2030年までに水使用量を 2019年に対して35％削減 (2019年水使用量：82,824m3) 23年：65,672 m3 24年：52,199 m3 25年：50,425 m3 年次目標： 2026年目標：48,896 m3以内	月に1回、水使用量および製造量のデータを収集し、水使用量の目標値（単月、累計）に対して、分析および進捗を確認。 また水削減活動の進捗および効果を把握する 2026年度の削減Actionは以下となる ・冷水槽の清掃回数削減 ・空調機の清掃回数の見直し ・空調機の冷房運転時の再加熱停止 ・糊調整室の給湯器給水圧の見直し	7月時点の結果 26年(1-7月)：24,779 m3 結果(1-7月)：26,398 m3 毎月(～2026.7)/四半期毎(2026.4～)の地球環境委員会で目標対実績の分析、レビューを実施	現状、拠点が分布する地域では水使用量の削減等の方針は掲げられていないが、会社目標のため、取組みを継続実施。
持続可能な水収支	【水リサイクル】 2030年までに水リサイクル率を10％以上（維持） 2026年目標：19.6％ （10％以上）	2030年までに水リサイクル率を10％とする（維持） ・排水処理後の再利用水を排気処理洗浄塔で使用	7月時点の結果 水リサイクル率目標：10％以上 結果(1-7月)：25.5％ 毎月(～2026.4)/四半期毎(2026.4～)の地球環境委員会で実績レビュー実施	現状、拠点が分布する地域では水使用量の削減等の方針は掲げられていないが、会社目標のため、取組みを継続実施。 。現状、リサイクル率目標は達成しているが、さらなる水使用量削減活動を行い、会社目標への貢献及びリサイクル率向上のための取組みを継続実施。
良好な水質	【排水水質の担保】 排水処理管理目標設定 ・pH：5.8～8.6 ・BOD：20mg/L以下 ・SS：25mg/L以下 ・n-ヘキサン(動植物油)：10mg/L以下 ・n-ヘキサン(鉱物油)：3mg/L以下	測定業者に排水水質の測定依頼を実施。 また、傾向及び異常値管理として、排水処理にpH計等の測定器を設け日々の排水水質をモニタリング。 測定結果を集約し、毎月EHSにて確認を行う。 また、排水水質の測定結果は、磐田市環境課に報告する。(6M)	7月時点の結果 規制値超過は無し。 協定値内で管理できていることを毎月の水質実績より確認。併せて地球環境委員会でレビューを実施。	排水では、周囲への環境影響だけでなく、評判リスクが低下する可能性があるため、毎月排水水質測定を行い、問題ないことを確認できている。
健全な淡水生態系	【生態系に関する課題整理】 流域における生態系を調査し、サイトとして協力できる課題を明確にし、ステークホルダーと協働した取り組みを実施する。 目標：本年は課題整理と協働可能性の整理を目標とし、桶ヶ谷沼の保全活動参加へ2回以上参加	桶ヶ谷沼の保全(ベッコウトンボが生息): ・ベッコウトンボ観察会(4月) ・トンボ養殖用コンテナの高温対策作業(6月) ・桶ヶ谷沼の保全活動(12月)	7月時点の結果 観察会4月：1人参加(4/26) 高温対策作業6月：1人参加(6/14) 保全活動12月：3人参加予定	協働活動として、地域ステークホルダーとともに地域活動を支援することで、水質保全だけでなく生態系保全への貢献につながる。

計画の類別	目標		評価結果	既存のイニシアチブとの対応
	目標	具体的な取り組み内容		
安全な水・衛生設備・および衛生環境	【WASHの提供】 別途計画策定している清掃箇所に対して、計画通り清掃を実施し、衛生環境を維持する。	年間計画通りに清掃作業を行い、衛生環境を維持する。 。また、毎月計画対実績に対して問題ないことを確認する。	7月時点の結果 清掃箇所に対して、計画通り清掃を実施し問題ないことを確認。	衛生環境を確保するために清掃計画を策定し実施。
流域における水資源の社会的・文化的・レクリエーション的価値への悪影響軽減	【安全な飲み水の確保および緊急時対応（避難地としての提供）】 ・飲料水水質検査の実施(年1回) ・雨水系統への香料流出を想定した対応訓練の実施(年1回)	・年1回行政の立入検査及び飲料水水質検査を行い、安全性を確認。 ・屋外香料室で香料が雨水系統への流出を想定し、遮蔽版の設置及びオイルフェンスと吸着マットの敷設を訓練として実施する。	7月時点の結果 実績無し。実行は9月と10月、11月で実施予定。	安全な水を提供するため、飲料水水質検査を実施。 自然災害等発生した場合、社員、住民の生活等の継続に危機的な影響を及ぼす可能性があるため、社員への備蓄品の確保や住民の避難時の受入検討を行っている。 雨水系統への香料流出を想定した緊急事態訓練は10月に実施予定。

当社のAWS水管理活動計画を含む、「責任ある水資源マネジメント」に関する取り組みへのご意見・ご質問・ご提案等がございましたら、以下よりご連絡ください。
お問い合わせの際は、「水管理に関するお問い合わせ」である旨と、対象となる事業所名をお知らせください。

■ メールでのお問い合わせ
[お問い合わせフォーム](#) ([「その他のお問い合わせ」をご利用ください](#))

■ 電話でのお問い合わせ
電話番号：03-6636-2914 (代表)
受付時間：平日9:00～17:40
休業日：土日祝日、創立記念日(6月最初の平日)、12月30日～1月4日
原則として1週間以内を目安に回答いたします。
なお、内容によっては回答までにお時間をいただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。